

美川自然クワース

H・17 10月号

でーす

「美川自然クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

9月24日、加賀市片野町の鴨池で、国の天然記念物に指定されている【マガン】の飛来が今シーズン初めて確認されたそうです。（昨年より一週間程早かったです。）

また、9月29日には、白山市漆町の手取川支流に、今季第一号の【サケ】が遡上しました。秋は着実に深まっていますね。

……ところで、今月号は【秋の七草】

み皆さん知っていますか？

「秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の萩の花、尾花、葛花、なでしこの花、女郎花、また藤袴あさがほの花(キキョウのこと)」。…秋の七草の語源は万葉集の山上権良のこの歌から始まったそうですよ。

【春の七草】は食べるための七種ですが、【秋の七草】は見えて楽しむための



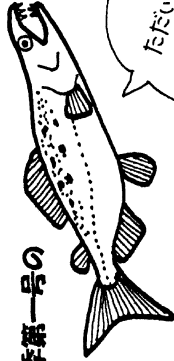
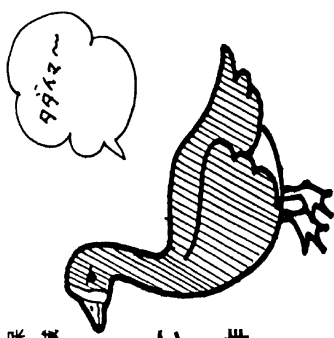
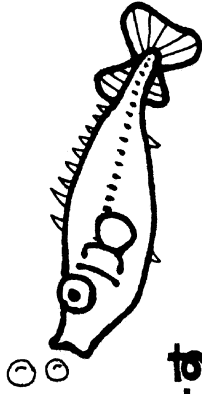
クワ (マメ科のつる性多年草)

年々木くさる梢は昔から薬材の材料として利用されてきた。木くさは薬材の原料にされたし、木くさはつるの根は薬材の原料にされた。

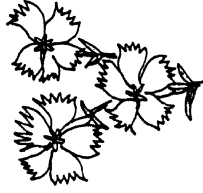


ススキ (イネ科の多年草)

昔から薬材と腫瘍の材料として利用されてきた。尾花とも言うのは白い穂がキクアネなどの属に似ているから。



キキョウ (キキョウ科の多年草)
今では野生にはほとんど見えずもっぱら園芸種。



カワラナデシコ (オシロイソコ科の多年草)
鮮やかな花に赤や白に咲く薄紅色の花は可憐で美しい。



アジバカマ (キク科の多年草)

高さ1~2mの大型の草で、みごとく野生に出会うこともよくあるが、最近では産の花として時々見られるくらいに減少に懸念が広がった。



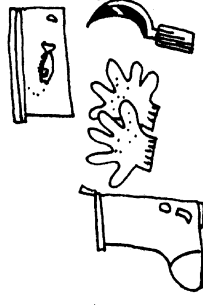
オミナエシ (オミナエシ科の多年草)

列につく穂をたくさんつけてその先に小さな黄色い花をかためてつける。



ハギ (マメ科の落葉喬木)

日本の秋を代表する花。秋の七草のなかでは本圖だけが木



※10月9日(日)A・M8:30~10:00ころ

「秋の安産川清掃とはりんご観察会」があります。参加してみようと思われるかたは、トミヨ増殖池に作業できる服装(軍手、草刈り鎌など)でお集まりください。